



「福祉体験学習で学んだこと」

鏡野中学校の一年生は、一学期から総合的な学習の時間を中心に高齢者福祉について考えてきました。生徒たちにとっては、随分先のことで関心は低いです。実際に高齢になると自分の身にどんなことがおこり、生活上どんなことが不自由になるのかを疑似体験する中で、将来は自分の問題であることを意識して前向きに考えはじめました。疑似体験では、身体に重りをつけたり、腰や肘、膝関節を固定するなどして階段を上り下りしたり、視野の狭い眼鏡をかけて読書したりといった体験をしました。こうした学習を通して、お年寄りの方々がどのような生活をしているのか、その気持ちに少しでも近づけることができました。

二学期には、町内にある五つの福祉施設を訪問し、入所されているお年寄りの方々と半日交流をして帰りました。事前にそれぞれのグループごとに担当の教員と生徒とが知恵を出し合って交流の目的や内容、方法を考えました。こうした準備と練習の中で、仲間意識も高まっていきま

した。どのグループも当日は大成功に収め、沢山のことを感じ、学んで帰ることができました。

文化祭では、こうした学習で得られた成果を構成劇に盛り込み、演じました。構成劇は、影絵寸劇 高齢者疑似体験や各施設の交流の様子で構成したパワーポイントスライド、施設で発表した皿回し、巨大紙芝居、歌、桃太郎劇などの紹介、感想の朗読、群読、ダンスなど多彩な内容で構成しました。

高齢化は今や身近な社会問題となつていますが、人生の先輩に学びながら、共に生きていけるような地域や社会をこれから創っていくところではないかと期待しているところです。また、この学習と劇への取り組みの中で、生徒たちのパワーと意欲に大変感心しました。思春期を迎えた生徒たちだけに、いろんな悩みもあります。それらを一つ一つ乗り越えて、新たな鏡野中学校の一ページを誇りを持って創っていくような生徒に育って欲しいと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
鏡野中学校 近藤 賢司

のびのびひろば

あけまして おめでとう ございます。



たのしい! おいしい!! クツキング

12月12日、5歳児3名が、大下地区のおばあちゃん達と一緒に、パン焼き体験を通してふれあいを持ちました。箸一膳で生地を混ぜたり、鉄板に並べたりを上手にされるおばあちゃん達に子ども達もびっくり!! 感心していました。



こなの山ができたあ♡

む、むずかしい.....



窯で焼かれたパンは、サクツとしてふんわり甘くて、とってもおいしかったです。

おいし〜ね♡

12月14日もちつきをしたよ!!



あつたか〜い☀️



昭和42年に作られた窯です。以前はたくさんの地区にあったそうですが、現在使われているのは、富地域では大下地区だけだそうです。

おばあちゃん達の温かいお心のおもてなしに感謝いたします。いつまでもお元気で、故郷の味を守り続けて下さいね。

富保育園